

1 国語に関する調査

【特長】

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表す力が身につけている。日ごろから、レポートや学習発表の資料作りを通して、図表と文章を組み合わせた学習活動を多く取り入れた成果だと考えられる。
- ・文章の構成や展開に関する理解力が高い傾向にある。国語の授業で継続的に文章構成を意識した授業を展開し、学習発表の準備を通して話の順序や展開を考えさせるような機会が多かったからだと考えられる。

【課題】

- ・目的に応じて、複数の資料から必要な情報を見つけることに課題がある。複数の資料を見比べて、資料から分かることや違いなどを見つけられるような指導をしていく必要がある。
- ・既習の漢字を文脈で判断して正しく使うことに課題がある。意味の違いを正確に理解させたり、例文を作らせたりするなど生活の中で漢字を使うことを意識した学習活動を取り入れていく必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・図形の定義や性質を言葉で分別する活動や、具体的な操作活動を通して図形の概念の理解を深めることができた。今後、操作体験を通して概念を理解し言語化することで、より深い理解を伴った学習指導をしていきたい。
- ・「データの活用」領域の学習が定着している。日頃から丁寧にグラフの構成要素に注目し、数値の比較や変化や傾向を読み取る力がつくような指導をしてきた成果であると考えられる。

【課題】

- ・単位分数を基準にして、加数や被加数がそれぞれ基準の何個分かを言葉や数で説明する力に課題がある。単位分数の意味を操作的に理解させたり、通分して計算する学習では、「なぜ通分するのか」「何個分を足しているのか」を言語化する場面を意図的に設けたりするようにする。
- ・割合や倍関係の理解に課題がある。図やテープを使って数量関係を可視化したり、実生活の場面を題材にして割合や倍の意味を考えたりする活動を取り入れた指導が必要である。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・発芽するために必要な条件を確かめるための実験の方法を考え、表現することができた。日常とのつながりを意識させて伝え合う場面を多く取り入れた指導を行ってきた成果であると考えられる。

【課題】

- ・エネルギー領域の正答率が低かった。原因は、理解した概念と日常生活との関連の理解の弱さが考えられる。生活場面と結び付けた教材の活用や、抽象的で理解しづらいエネルギーの概念を理解しやすくするために操作や実験を行い、理解を深めていけるような指導が必要である。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答する児童、人が困っているときは進んで助けようとしている児童や、人の役に立つ人間になりたいと思う児童が多い。
- 友達関係に満足している児童や普段の生活の中で幸せな気持ちになる児童が多い。学校生活を前向きに捉えているのは、様々な活動を通してお互いの良さを認め合えるような指導を続けてきた成果と考える。

【課題】

- 放課後などの家庭学習に取り組む時間が1時間以下の児童の割合が高い。家庭との連携を図り、協力も得ながら、学習内容の定着を図るよう指導をしていく。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができる児童の割合が低い。メタ認知能力を育てていくために自らの学習過程が見えるようにしたり、問題解決の足がかりになるような助言をしたりしながら、自ら学ぼうとする意欲が育つような指導をしていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 読書を推進し、たくさんの文章に触れるとともに、文章の推敲や要約をする機会を充実させ、自分の考えや思いを適切に表現できる力を高められるように取り組んでいく。
- 漢字を学習する際には、漢字の意味や使い方を理解し、語彙力を高め、実際に文章を書く中で適切に使えるように取り組んでいく。
- 努力に基づいた成功体験など、自分の力の伸びが実感でき、自己肯定感が高められるような指導をしていく。
- 家庭と連携しながら学習の習熟に取り組み、基礎基本の定着を図っていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 家庭学習を習慣化するために自分で計画を立てて学習することの大切さについて、ご家庭でもお子様と話す機会をつくるようお願いします。
- 学校の図書を活用し、学校でも継続的に読書を薦めていきたいと思います。ご家庭でも、活字から知識を得たり心を揺さぶられたりする体験ができるようご協力をお願いします。
- 地域や社会をよくするために何かしたいと思っているお子さんが多くいます。地域行事に積極的に参加し、地域の一員であることを認識できるよう、これからもご協力をお願いします。